

# 2024年12月7日(土) フォレスト箱根忘年会

～Report by 高橋(雄)～

クマさん会の今年の忘年会はフォレスト箱根で行った。それに向かうコースとして、A:金時山、B:箱根駒ヶ岳・彫刻の森美術館、C:ホテル直行の3つを実施した。

参加者は、

A:金時山コース：堀さん、池戸さん、根岸さん、田上さん、布目さん、中島さん (+服部さん金時山から直帰)

B:箱根駒ヶ岳・彫刻の森美術館コース：熊本さん、安部さん、高橋文さん、石井さん、高橋雄

C:ホテル直行：能勢さんご夫妻、吉松さん、塩野さん、川島さん、小野寺さん、大瀧さん

の18名。 A:金時山コース、B:箱根駒ヶ岳・彫刻の森美術館コースのレポートはそれぞれをご参照。

フォレスト箱根はいすゞ自動車の研修施設・保養所で、四季俱楽部が運営しているホテルである。

四季俱楽部はソニーの元保養所の熱海望洋館など他の企業の施設も運営している。



15:10

ホテル直行組の小野寺さんが最初にフォレスト箱根に到着。

2階のラウンジで会費集めの準備。



15:25 金時山組の堀さん、池戸さんが到着。途中のココカラファインで酒・飲物・おつまみ類を調達後、タクシーで来る予定だったが、早く調達できて元気を持て余していた？ので、先に1.2kmを歩いてきた。

ほどなく箱根駒ヶ岳・彫刻の森美術館の5人、ホテル直行組の能勢さんご夫妻、吉松さん、塩野さん、川島さん、大瀧さんも到着。金時山＆酒・飲物・おつまみ類調達組の根岸さん、田上さん、布目さん、中島さんもタクシーで到着し、15:50全員が揃った。



16:00 チェックイン。

長老組は早速温泉露天風呂へ。

若輩組は水道沸かしの大浴場へ。

一風呂浴びて、まずはお茶を一啜り。





部屋は1室あたり和室10畳+リビング8畳、定員6名。これを3室確保して18名。

男性は11名だったので2室。長老組5名で1室、若輩組6名で1室を使用。

←女性は1室を7名で使用。定員を1名オーバーしたが、なんとか布団を敷き詰めた。ご窮屈様でした・・



フォレスト箱根は研修施設なので、会議室があるし、プロジェクターのスクリーンもある。

忘年会はそこを借りて行った。

机に酒・飲物、おつまみ、プロジェクターをセッティング。



17:25 忘年会スタート。  
吉松さんが総合司会。



最初に、今年他界された半澤淳一さん  
と塩野淳一さん  
(名前が一緒..)  
に黙祷を捧げ、熊本さんのご発声で献杯し、ご冥福をお祈りした。



その後、池戸さん  
の音頭で改めて  
乾杯。



しばしのどを潤し、おつまみ類もお腹に納めて、  
17:38 いよいよ本日の  
メインイベント、  
「2024年を振り返る」  
登場。  
石井さんが 3 か月を費や  
して構想を練り、仕上げた  
渾身の力作だ。



18:35 熊本さんが  
「2024年山行まとめ」  
とアンケート結果  
「2025年に登りたい山」を発表。



18:46 中島さん、小野寺さんの  
「お楽しみ大抽選会」。ポチ袋の中は  
スクラッチくじ一人 5 枚と 5 円玉。



5 円玉でスクラッチタイム。 あっ、当り！ どれどれ？ 憐しい！ これ当たってますよ。 . . . .





スクラッチくじは1等500万円と100万円の2種類。

結果は・・

4等 2,000円 1枚

5等 200円 12枚

だった。

5等200円はその場で交換された。



以上が予定されたプログラムだったが、番外編として私が忘年会の諸手配について賞を戴いた。誠に恐縮です。



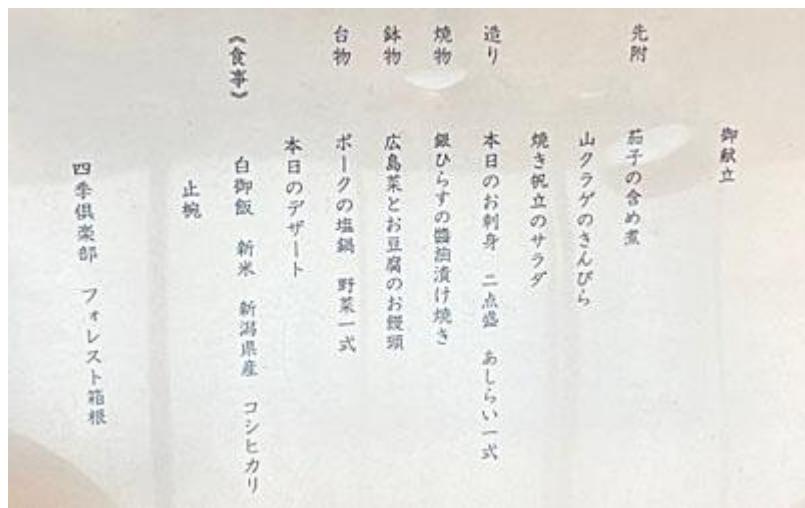
19:09

会議室での忘年会は能勢さんの一本締めでお開きとなった。



19:30 大広間で夕食。





20:30 カラオケタイム。  
フォレスト箱根にはカラオケルームが 2 室ある。  
そのうち 1 室を 2 時間半確保した。

最初に高橋文さんのリコーダーと能勢邦さんのオカリナの特別演奏があった。  
譜面台まで持参しての熱演である。  
お疲れさまでした。



その後 2 時間盛り上がった。



予定ではカラオケ時間は2時間30分で、23時までとしていたが、歌い尽くした感あり、22:45早めにお開きとした。

その後お風呂に行った人もいたが、お風呂は23時まで、スタッフに早く上がるよう急かされてしまったとのこと。

特に女性陣からは、忘年会の始まる時間も早く、お風呂の時間が十分とれず、髪を洗うこともできなかつたとのご指摘あり。

ホテルのチェックインが16時からと遅かったのと、カラオケ時間をたっぷりとりすぎたためである。

次回の宿は15時からチェックインできる宿選び、カラオケする場合は2時間程度にして、お風呂の時間をなるべく多くすることが望ましいだろう。

また、普段なら早く寝ておられる方も多い中、夜遅くまでお付き合いいただきましてありがとうございました。

ともあれ、就寝。

山小屋並みのタコ部屋状態でいびき大会となつた・・・・しかし、それだけでは収まらなかつた・・

AM4時頃、突如「ジリジリジリ」という音が響き渡つた。

「うるさいな、誰の目覚しだ？早く止めて！」と思ったが、いつこうに鳴りやまない。

非常ベルレだ！と気づいて廊下に出てみた。煙が充満しているか？しかしそんな気配は全くなない。

非常ベルレはずつと鳴りつ放し。

各部屋から何人か出てきて、何だ？何だ？と様子をみていたが、そのうちスタッフが駆けつけてきて、特に火災ではないことを確認し、やっと非常ベルを止めた。

「ただ今の非常ベルは誤報だったことがわかりました。」と館内放送があった。

女性部屋からは川島さんが飛び出してきた。

～ 後日いただいた小野寺さんのコメント ～

「意識はあったのですが、めんどくさくて起き上がりもしなかつた私(汗)

隣に寝ていた百子さんは、スクッと起きて廊下に出て様子を見に行ってくださいました。

コンタクトレンズがなくて目が見えないだろう私を「なにかあつたら小野寺さんの手を引かなきゃ！」と思ってくださいましたそうです (ToT) ャシイ…」

かくして人騒がせな一夜は明けた。

# 2024年12月8日(日) 仙石原すすき草原・ガラスの森美術館・小田原おでん

～Report by 高橋(雄)～

フォレスト箱根の朝風呂は6時から。大浴場は沸かしのため、最初は浴槽の温度があまり上がっておらず、ちょっとぬるかった。露天風呂は温泉で、沸かしではないので十分暖かかったらしい。



7:30 朝食。

焼き魚、納豆、卵かけごはん等の典型的な旅館食。



朝食後の本日の基本のプランは、ゆっくりともう一風呂浴びるなどして9:30ホテル発、10:00に開館するガラスの森美術館を見た後、小田原に移動し、12:30小田原おでんランチを食べて解散だ。

お風呂は入らなくてもいいという人向けに、8:40にホテルを出て、ガラスの森美術館を見る前に仙石原すすき草原に寄るオプションを提示していた。実は、すすき草原の見ごろは11月で、12月では枯れすすきとなっているはずなので、希望者はそんなに多くはないだろうと思っていたが、意外と18人中10人が希望した。熊本さん、能勢征さん、堀さん、池戸さん、安部さん、吉松さん、石井さん、布目さん、中島さん、高橋雄だ。所用があってどこにも寄らずに宿から直帰する人は高橋文さん、根岸さん、田上さん、大瀧さんの4人。結局、基本プランのお風呂に入ってから出発するのは塩野さん、川島さん、能勢邦さん、小野寺さんの4人となつた。

すすき草原組と直帰組は8:15ごろから出発準備。



すすき草原へは、仙郷楼前バス停まで8分歩き、そこからバスで2停留所先の仙石高原バス停まで乗れば到着する。

しかし、能勢さん、堀さん、池戸さん、安部さんの4人は、「バスに乗るほどではないので早めに出て歩く」と言って、8:25に出発。箱根には何度も来っていて道を知っているという池戸さんの先導で歩いて行った。



残りの6人は玄関前で楽しく写真を撮ったりして、



それでも予定より2分早い8:38に出発。



8:45 仙郷楼前バス停着。  
あれ？直帰のはずの大瀧さんも一緒に来た！直帰するならバス停は逆方向のガラスの森だ。

実は、熊本さんもガラスの森美術館と小田原おでんをバスして帰ることにしていたので、大瀧さんは「熊本さんと一緒に行動すればいい」と思ってついてきた。

しかし熊本さんはすすき草原には寄って見ていくことにしたのだ。

でも大丈夫。仙郷楼前の道路の反対側のバス停から小田原行きのバスに乗れる。ほどなく小田原行きのバスが来て、大瀧さんはそれに乗って帰った。



大瀧さんと別れた後、すすき草原方面へのバスを待った。

8:54 に来るはずだったが、その時刻になつてもバスが来ない。渋滞にはまっているか？

これからすすき草原を見た後、10:00 にはガラスの森美術館を予定していて、時間の余裕はあまりないので気が気ではない。先行歩きの池戸さん組 4 人はもう着いているところだろう。歩いたほうが良かったか？



結局バスは 8 分遅れてきた。3 分乗って、仙石高原バス停で降りて、9:05 すすき草原遊歩道入口。それぞれポーズを決めてパチリ。



この遊歩道入口で先行歩き組の 4 人に会えると思っていたが、**そこにはその 4 人の姿はなかった・・・。**

すすき草原遊歩道は一直線で、その先は行き止まり。同じ道を戻ることになる。

きっと先行組はその行き止まりまで行って待っているにちがいないと思って、私と吉松さんは速足で向かった。



熊本さん、布目さん、石井さん、中島さんは写真を撮りあいながらあとから登ってくる。

すすきは枯れているものが多いが、草原の雰囲気は十分に味わえる。



9:18 すすき草原遊歩道終点についた。

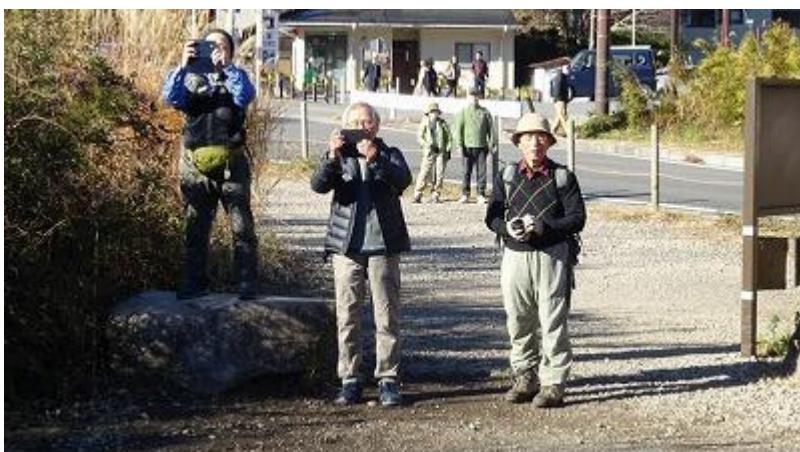
しかし、**そこにも池戸さんたちの先行4人組の姿はなかった。**

「池戸さん」とか「堀さん」とか叫んでみたが返事もない。  
どこにいるんだろう？

10時までにガラスの森美術館に行くためには、仙石高原バス停を9:41発のバスに乗らなければならない。



遊歩道の終点で先行4人組を探していると、バスに乗り遅れてしまうので引き返してきた。



9:31 遊歩道入口まで戻った。

すると、そこに先行4人組のうち能勢さん、堀さん、安部さんの3人の姿があった。  
今着いたばかりだという。  
やっと会えた。

話を聞くと、だいぶ遠回りをしてきたようだ。

もう一人、池戸さんはトイレを探しに行っているのだそうだ。



仙石高原のバス停で並んでいると、池戸さんがやってきた。  
実はすすき草原は、有名な観光地なのに、なんと、近辺に公衆トイレがない！  
近くのローソンに入ったらトイレ前が行列だったそうで、かなり時間がかかってしまったこと。  
やれやれ・・



結局、歩きの4人組は先に出たが回り道して遅れてきたので時間がなく、すすき草原では遊歩道に入ることなく、外から写真を撮るだけとなつた。  
すすき草原は初めてではないようなので、まあいいか。



9:41 ほぼ定刻通りにやってきたバスに10人揃って乗って、ガラスの森美術館に向かった。  
すすき草原越しに昨日の金時山などがよく見えていた。

昨日、服部さんが金時山から撮った写真↓に、すすき草原も写っていたので、その写真を借りて図解すると、以下となる。赤はバス組。黄色は歩き組のルート。歩き組はずいぶん回り道をしたものだ。時間がかかるわけだ。





9:50「ハイランドホテル前」バス停で下車。箱根ガラスの森美術館には、すすき草原からだと、次のバス停「俵石ガラスの森美術館」よりここで降りたほうが近い。

熊本さんはガラスの森美術館と小田原おでんは寄らないので、降りずにそのまま乗つて小田原に向かう。バスの前方に座っていた熊本さんにみんなお別れの挨拶をして次々とバスを降りた。**ここでまた事件発生**。後ろの方に座っていた堀さんと池戸さんが降りてこない！みんな降りたのに気が付かなかったか？バスは発車してしまった。

しかば次のバス停「俵石ガラスの森美術館」で降りてくるかと思ってそっちも見ていたが、やっぱり降りてこない。

池戸さんの携帯に電話したら、「ガラスの森美術館には寄らない」とのこと。「だったら堀さんとそのまま小田原に行って、次の小田原おでんには12:30に必ず来てくださいね！」と言って電話をきった。

9:58 [ガラスの森美術館](#)開館を待つ並ぶ。すすき草原には行かずに行かずレスト箱根でゆったりしてからガラスの森美術館に来た塩野さん、川島さん、能勢邦さん、小野寺さんたちも、ちょっと遅れたが無事到着した。

10:00 開館。「ガラスの森」の名前の通り、屋外にはガラスでできたツリーがあちこちにある。霧氷みたいにキラキラ光っている。



←クリスマスに向けてサンタのそりに乗った美女軍団。

館内には数々のガラス工芸品が展示されている。





こういった芸術品に興味のある中島さんは写真を撮りまくり。



以前に見に来たことがあって、正直あまり興味がないおっさんたちは日向ぼっこ。

池の鴨を見るなどもしていた。



10:50 ガラスの森美術館を出た。  
10:58 ハイランドホテル前バス停から小田原行きのバスに乗車。  
バスは混んでいて、座れない人もいた。



そのころ、熊本さんはバスが小田原駅に着いて、箱根そばで早めの昼食をとっていた。



ガラスの森美術館でバスを降りなかった堀さんと池戸さんは、終点小田原駅で降り、熊本さんと別れて、30分歩いて小田原おでん本店へ。

11:33 到着。

予約の 12:30 まであと 1 時間ほどもある。

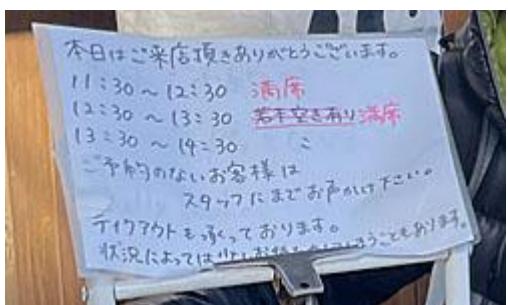


予約時刻まで近くの海岸へ行き、時間をつぶしていた。

ガラスの森美術館組 11 名が乗ったバスは、箱根湯本にさしかかると渋滞にはまり、35 分ぐらい遅れた。小田原駅から 4 つ手前の幸町バス停で降り、10 分歩いて 12:09 小田原おでん本店に到着。



小田原おでん本店は小田原駅からかなり離れており、ほとんど人のいない閑散とした通りにあるが、**満席**の張り出し。人気店だ。





堀さん、池戸さんとも合流できて、これで予約していた 13 名が揃った。



おでんの大きな角鍋を囲んだカウンターでランチをいただく。



おでんランチは、各自お好みのおでん 5 種類を申告し、スタッフがそれぞれの器に取り分けて提供される。

先付、上記おでん 5 種、ご飯もの（茶めし、うどん、ちまき、牛すじ丼、あじの押しづしのうち一品）、デザートが出てくる。



追加で注文することも、もちろん OK。なかでも牛すじ↓は石井さん、川島さん、中島さんが頼んだが絶品でお勧めだそう。





生ビールをグビリ。

備前焼の器も置いてあったのを、塩野さん、川島さんが発見。店主との備前焼談義なども交えながら、美味しくいただくことができた。



小田原おでん本店のランチタイムは1時間交代制。

13:30 小田原おでんを出て、小田原駅まで歩いて行って解散となりました。

今回の忘年会も例年同様、いろいろハプニングがありましたが、大事故に至ることもなく、それなりに満喫していただけたのではないかと思います。

雨には降られなかったのは良かったが、金時山・駒ヶ岳から見た富士山が雲の中だったのはちょっと残念。

たいへんお疲れさまでした。

(特に幹事の皆様、ご奮闘ありがとうございました)